

消化管造影におけるイオプロミド注 370 の使用について

使用内容	ガストログラフイン経口・注腸用の代替薬としての消化管造影におけるイオプロミド 370 注 100mL の使用
対象患者	消化管造影検査が必要な患者
実施期間	ガストログラフインの安定供給が再開されるまで、または代替薬が薬事承認されるまでの期間
目的・使用する理由	消化管造影に使用していたヨード造影剤のガストログラフイン経口・注腸用が供給不足となりましたが、日本国内では他に経口・注腸用として薬事承認されているヨード造影剤がありません。そのため、海外では消化管造影剤としての使用が承認されている非イオン性ヨード造影剤のイオプロミド 370 注を使用します。
想定される不利益	副作用として、ショック、アナフィラキシー、悪心嘔吐、胃部不快感、腹痛等が現れることがあります。投与にあたっては、十分な問診を行い、検査をされる方の状態を観察しながら、過敏反応等の発現に注意し、慎重に投与します。異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行います。
使用に関する同意について	当院では対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意をいただく代わりに、ホームページに情報を公開することにより実施します。本件に同意をいただけない場合やお問い合わせなどありましたら、担当医師にお申し出ください。

栃木県立がんセンター 病院長